

## ギニア月報(2020年9月)

主な出来事

### 【内政】

- 2日、コンデ大統領は、大統領選挙への立候補を公式表明。
- 7日、ギニア民主勢力連合(UFDG)は党内協議の結果、ディアロ党首を大統領選挙の候補者に指名。

### 【外政】

- 15日、コンデ大統領は、ガーナのアクラで開催された ECOWAS 首脳会議に出席。マリ暫定政権代表団との2国間会談を実施。

### 【経済(経済協力を含む)】

- 2日、ドイツは、2020年の国家資格試験時の防護対策として、6億2500万ギニアフラン相当のマスク48,000枚、石鹼2,569箱を配布。
- 9日、EUとプラン・インターナショナルは、新型コロナウイルスにより経済的な被害を受けた脆弱な人々に対して、合計105万ユーロの支援を決定。

## 1 内政

- ・ 2日、コンデ大統領は、大統領選挙への立候補を公式に表明した。
- ・ 2日、護憲国民戦線(FNDC)は、コンデ大統領の立候補宣言後に緊急会議を招集、新型コロナによる緊急事態であるものの、デモの再開を決定した旨発表した。
- ・ 2日、コナクリでコンデ大統領の立候補に反対するデモが発生、銃撃により1名が死亡した。
- ・ 3日、コナクリ市のプリンス通り(バンベトーコサーコロマーワニンダラ)で小規模な衝突が継続的に発生した。
- ・ 6-7日、野党勢力の最大勢力であるセル・ダレン・ディアロ・ギニア民主勢力連合(UFDG)党首が、党大会において大統領選挙への出馬を表明した。なお、右を受け、コナクリ市内では一部の支持者が道路に集まり、タイヤを燃やす等の行為を行い治安当局が出動した。
- ・ 9日、コンデ大統領は憲法裁判所に立候補届を提出した。
- ・ 9日、FNDC は協議の結果、大統領選挙に候補者を擁立した UFDG、RGD、PADES を除名する旨決定した。
- ・ 9日、憲法裁判所は大統領選挙候補者の最終リストを公表。12名の立候補届を受理した。
- ・ 11日、15,000箇所 of 投票所で警備を担当する USSEL(大統領選挙安全特別ユニット)が設立された。
- ・ 14日、独立選挙管理委員会(CENI)が第三回政党間委員会(CIP)において、ECOWAS 専門家ミッションによる調査結果を受け、選挙人登録者数 5,410,089 名と発表した。UFDG は、コンデ大統領の支持基盤であるカンカン州の人口が顕著に増加しており、国内の人口分布不均及び国外の登録者数の少なさを批判した。

- ・ 15日、コンデ大統領は、新型コロナウイルスの流行に関する措置として、概に発出されているギニア全土における非常事態宣言を、16日より更に1ヶ月間延長する旨を発表した。
- ・ 18日、大統領令により、大統領選挙キャンペーンが18日から10月17日深夜まで実施される旨発表された。
- ・ 20日、コンデ大統領は、カンカンとシギリの支持者に、オンラインで人民連合（RPG）の選挙運動を開始した。
- ・ 21日、コンデ大統領は、大統領によるプログラムによる住宅建設着手を発表。保健省、国防省、治安・市民保健省の所得の低い国家公務員向けに1万戸の住宅が建設される予定。
- ・ 22日、FNDC の会議が行なわれ、コンデ大統領の退陣を目指して29日からデモを実施する旨を発表した。
- ・ 22日、大統領府は、新型コロナウイルスの流行に対する措置を一部緩和する旨の声明を発表した。公共交通機関への規制緩和、バー、レストラン、モーテルの再開、社会文化イベントの再開、スポーツイベントの再開が決定された。
- ・ 大統領選挙において、コンデ大統領の対立候補11名は、大統領選挙において2回目の投票が実施される際、UFDG を支援することを決定した。
- ・ 23日、ECOWAS の選挙監視ミッションが22日から25日までコナクリに滞在、専門家による選挙人名簿の確認作業を検証した。
- ・ 28日、コンデ大統領は、ギニアを不安定化させる目的で、シエラレオネで傭兵を募集していたディアロ UFDG 党首とジャロ・シエラレオネ副大統領を告発した。
- ・ 29日、ファフォナ首相は、中部ギニアのフータで与党 RPG の選挙キャンペーン中、ダラバで襲撃され、負傷者が発生した。
- ・ 29日、FNDC は、コナクリ市及び地方でのデモを呼びかけた。コナクリでのデモはタネリから高速道路を通り人民宮殿までのルートが予定されていたが、実際にはデモは実施されなかった。
- ・ 30日、ダラバでのデモにより1名が死亡した。
- ・ 30日、ファラナで UFDG と RPG の活動家が衝突し1名が死亡した。

## 2 外政

- ・ 2日、コンデ大統領の立候補を受け、フランスは選挙人名簿に関する国民的な合意の欠如に懸念を表明、与野党の関係者に対し、責任を持った対話、最大限の自制を求めた。
- ・ 7日、ECOWAS の首脳会議がニアメで開催され、コンデ大統領の代わりにトゥーレ外務・在外自国民大臣が出席した。
- ・ 15日、コンデ大統領は、ガーナのアクラで開催された ECOWAS 首脳会議に出席。マリ暫定政権代表団との2国間会談を実施した。
- ・ 16日、ファトマタ・カバ国連ギニア代表が即時に召喚された。
- ・ 16日、コンデ国土行政・地方分権大臣は駐ギニア英大使と面会、同大使は新型コロナウイルスに係る社会政治情勢及び健康管理について質問した。

- ・ 25日、仏欧州・外務省は、ギニア大統領選挙に関する報道課長コメントを発表、ギニアにおける政治情勢の悪化及び新たな暴力の連鎖を回避するための、ECOWAS、AU 及び国連に努力継続を支援、次の選挙が平穏に実施され全ての市民の参画をもたらすよう、ギニアの全てのアクターに、責任、対話及び慎みを再度呼びかけ、特にギニア当局が、沈静化に貢献するためのイニシアティブを発揮するよう求めた。
- ・ 28日、ギニアは、セネガル、ギニアビサウ、シエラレオネとの国境を閉鎖した。
- ・ 28日、国連人権理事会は、ギニア政府の2020年普遍的・定期的レビュー(UPR)を採択した。

### 3 経済(経済協力を含む)

- ・ 2日、ドイツは、2020年の国家資格試験時の防護対策として、6億2,500万ギニアフラン相当のマスク48,000枚、石鹼2,569箱を配布した。
- ・ 9日、EU とプラン・インターナショナルは、新型コロナウイルスにより経済的な被害を受けた脆弱な人々に対して、合計105万ユーロの支援を決定した。
- ・ 16日、松原大使は、ソウ当地国連人口基金代表及びベアヴォギ女性の権利と自立大臣と、コロナ禍における産婦人科の医療体制強化プロジェクトの開始式に出席した。
- ・ 24日、コンデ大統領はオンラインにて、中国・ギニア友好病院院長が2年の任期を終了し帰国するため同院長を叙勲した。
- ・ 28日、シラ運輸大臣兼政府報道官は、カナダ大使と面会、海上交通の強化、特にクリンカー輸出のため、フォカレア県コンタ港に岸壁を建設する原則を再確認した(当館注:当地にカナダ大使館は設置されておらず、同大使はセネガルから兼轄している)。
- ・ 29日、EU はギニアに対する国際社会の懸念を表明、現在まで不十分な平和的選挙プロセスへの同意形成のため、最適な協議を実施する旨合意した。
- ・ 29日、ディアロ UFDG 党首は駐ギニア英大使と会談、同大使は、大統領選挙前後に衝突が起きるリスクを EU 諸国が共有している懸念を表明、包括的、透明、平和的な選挙の実施を求めた。

(了)